

令和8年度
学校だより
第5号

久高幼小中 久高だより

南城市立
久高小中学校
発行者
校長 山田 浩也

【学校教育目標】

○よく考え進んで学ぶ児童生徒 ○粘り強く思いやりのある児童生徒 ○心身ともに健康な児童生徒

七夕集会（久高幼小）

7月7日（火）久高幼稚園・久高小学校合同で七夕集会を行いました。七夕集会は、幼児児童一人ひとりの願い事を短冊に書いて笹につるし、日本の伝統文化である七夕行事について学ぶことなどをねらいとしています。本校においては短冊に願い事を書いて笹につるすだけでなく、集会では「七夕の歌」を歌った後に各自の願い事を発表し、その後小学生のお兄さんお姉さんが幼稚園児をリードして「風船運び」などのゲームやレクを行いました。また集会では、自分の願いに向かって努力することで「願いが叶い易くなる。」ことなどを確認し、この集会を終えました。



非行防止教室（久高小中学校）



7月14日（火）5校時に「非行防止教室」と銘打って小学校5年生から中学校3年生の児童生徒を対象に授業を実施しました。本校では、夏休みの過ごし方の他に問題行動の未然防止の一環として、授業参観日とあわせて保護者の皆様にもご案内をかけ、本校ランチルーム（多目的教室を）にて行いました。講師に「南部保護区保護司会」の方々3名が来校し、主に薬物乱用の恐ろしさや誘惑に負けない為の講話が行われました。生徒から「薬物は危険だし社会的にも良くない。自分の周りにいたら、説得して止めさせたい。」などの感想や意見が聞かれました。

琉歌教室（久高中学校）

南城市教育委員会の事業では、中学生を対象に琉歌や「しまくとうば」の普及を兼ねて平成30年度から「琉歌講座」を実施しています。琉歌（りゅうか）とは 沖縄・奄美・宮古・八重山に伝わる叙情的な短詩形の歌謡で、八・八・八・六（サンパチロク）を基本とする定型詩です。本校の中学生の皆さんはこれまで、国語の授業の中で詩、俳句、短歌のことについて学び、これらを制作してきた経緯があります。今回、7月15日（水）に琉球舞踊研究所の講師を招聘し、講師と一緒に日常で使っている言葉を「しまくとうば」に変換しながら、琉歌を創りました。テーマを久高島の文化や自然（今回はカベール岬）を題材にして、「しまくとうば」に苦戦しながらみんなで話し合い、一つの琉歌を創ることができました。（できた琉球は以下の通りです。）

「カベール岬(ミサチ)や 太陽(ティード)光る
海 行きたいな 釣りしたいな 恐れ多い」

